

第 28 回広島県障害者水泳競技大会

実 施 要 項

1. 目 的 水泳を通じて体力の維持・増進を図るとともに、障害者のスポーツ活動の普及・啓発を図る。
2. 主 催 広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
3. 共 催 公益社団法人広島県パラスポーツ協会
4. 後 援 一般財団法人広島県水泳連盟 社会福祉法人広島県社会福祉協議会
(予 定) 一般社団法人広島県身体障害者団体連合会 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会
広島県知的障害者福祉協会 公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会
一般社団法人広島県精神保健福祉協会 東広島市教育委員会 社会福祉法人東広島市社会福祉協議会
5. 協 力 広島身体障害者水泳連盟 東広島市スポーツ推進委員協議会 広島大学体育会水泳部
(予 定) 広島大学トライアスロン部 公認パラスポーツ指導者 おりづるサポーター
6. 日 時 令和 8 年 2 月 15 日 (日) 9:40～15:00 (予定) ※参加者の状況により終了時間は変更する場合があります。
受 付 9:00～9:40
開会式 9:40～
練習時間 10:00～10:30
競技開始 10:40～
7. 場 所 広島県立総合リハビリテーションセンタースポーツ交流センター (〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3)
8. 参加資格 広島県内に在住する身体障害者・知的障害者・精神障害者とする。
身体障害者：身体障害者手帳所持者（内部障害を含む）で中学生以上。
知的障害者：療育手帳所持者あるいは、その取得に準ずる障害のある者、特別支援学校、特別支援学級、障害者支援施設に在籍するもので中学生以上。
精神障害者：精神保健障害者保健福祉手帳所持者あるいは、その取得に準ずる障害のある者で中学生以上。
9. 申 込 み 所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、令和 8 年 1 月 23 日 (金) **«必着»**までに郵送・持参・FAX・Eメールのいずれかの方法で申込みこと。（参加無料）
（参加申込書は実施要項添付のものを使用するか HP からダウンロードする）
※FAX・Eメールの場合は必ず電話で着信（届いているか）の確認をすること。

【申込・問い合わせ先】

広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3

TEL : 082-425-6800 FAX : 082-425-6789

HP : <https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/>

Eメール : oridsuru@hiroshima-wsc.jp

担当：鈴木・広兼

10. 競技規則 全国障害者スポーツ大会競技規則 及び 本大会申し合わせ事項により実施する。

11. 競技種目
(競技順)

1	25m 自由形	7	100m 平泳ぎ
2	25m 背泳ぎ	8	100m バタフライ
3	25m 平泳ぎ	9	50m 自由形
4	25m バタフライ	10	50m 背泳ぎ
5	100m 自由形	11	50m 平泳ぎ
6	100m 背泳ぎ	12	50m バタフライ

※障害、年齢、男女の区分によって参加できる競技種目が限られているので、詳細は「第 28 回 広島県障害者水泳競技大会障害区分・種目一覧表」で確認すること。

※100m 種目は全国障害者スポーツ大会広島県代表選手の選考対象外とする。

12. 競技方法

- ・すべて個人種目とする。(リレーは実施しない)
- ・25m および 50m のエントリーは 1 人 2 種目までとし、100m 種目は 2 種目までのエントリーとする。なお、100m 種目のみのエントリーは認めない。100m 種目にエントリーする場合は 11. 競技種目の順に競技を行うため、各種目の競技時間の間隔が短くなる場合があることを了承の上、申し込むこと。
- ・競技種目は、原則として障害区分別・男女別に行う。

13. 表彰

- ・表彰は各レース終了後、準備ができ次第行う。(すみやかに表彰場所へ移動する。)
- ・身体障害者は各競技種目・障害・年齢・男女の区分ごとに 1 位～3 位を決定し、賞状とメダルを授与する。
- ・知的障害者と精神障害者は、各組別で 1 位～3 位を決定し、賞状とメダルを授与する。
- ・上記の者および 100m 種目については記録証を配布する。

15. 申合せ事項

- ・8. 参加資格における「その取得に準ずる障害者」とは以下のとおりである。
 - 知的障害者…(a)児童相談所・知的障害者構成相談所長の判定書がある場合。
 - (b)医師の診断書がある場合。
 - (c)在籍(在学、通所、入所)又は卒業(退所)先の所属長による証明がある場合。

精神障害者…自立支援医療(精神通院)受給者。

※本大会において、証明書の提出は必要ないが、全国障害者スポーツ大会広島県代表選手に選考された場合は証明書の提出が必須となる。

- ・自由形、平泳ぎ、バタフライのスタートは、台の横方からの飛び込み、または水中スタートを選択できる。ただし、安全上の観点から、申込時に飛び込みスタートの希望がない者については、競技役員より、水中スタートを促す場合がある。
- ・着用する水着については世界水泳連盟(WORLD AQUATICS)の公認した水着を着用しなければならないが、本大会においては競技者の判断に委ねることとする。ただし、競技にふさわしい水着を着用すること。主催者としては、公認水着の着用を推奨する。
- ・プールサイドに入ることができるのは原則、選手 1 名につき、介助者 1 名までとする。
- ・障害区分 23 に出場する選手は光を通さないゴーグルを着用が必須となる。(自身で用意)

16. そ の 他
- ・本大会は、第 25 回全国障害者スポーツ大会（青の煌めきあおもり障スポ）の広島県代表選手選考会を兼ねる。（内部障害者・精神障害者および、広島市在住の人は選考の対象外となる）
 - ・当日の参加申し込み、代理出場は一切認めない。
 - ・主催者においては応急の処置しかできないので、参加にあたっては医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。
 - ・プール内及び、プールギャラリーでの写真・動画撮影は大会本部に確認すること。
 - ・待機場所はアリーナとする。原則、プールサイドでの待機はできないこととする。
 - ・更衣室のロッカー（100 円硬貨リターン式）は必ず施錠し、貴重品は各自で責任を持って管理する。
 - ・待機中の防寒対策は各自で準備すること。
 - ・プールサイドはサンダルの使用を可とする。
 - ・スタート時のフラッシュ撮影は禁止する。
 - ・駐車場については、リハビリテーションセンターの職員駐車場を使用する。（別紙交通案内確認）
 - ・大会当日に、テレビ・新聞等の報道機関が来場することが予想され、選手の氏名・写真・映像がテレビ・新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム、大会報告書及び当センター機関誌などに障害区分・年齢区分・氏名・競技中の写真などを掲載するので、了承したうえで申込む。
 - ・今後の流行性ウィルス感染症等の流行状況により、主催者側による感染予防対策を講じる可能性がある。
 - ・流行性ウィルス感染症や、天候等の影響により、やむを得ず大会を中止する可能性がある。